

上級システムアドミニストレータ連絡会 京都きづき塾
システム「担当者」のお悩み解決！セミナー2008

シスアドに目覚めた社内IT連絡会 ～ITに対する意識の転換～

JSDG正会員
村田 和浩

2008/7/20

職歴

2

- ◆ 20年以上、ほぼ経理畑一筋
- ◆ ただし、大半は現場の何でも屋さん

私は「システム担当者」ではありません
その経験もありません

情報処理試験受験履歴

3

2002年秋

初級シスアド合格



2005年秋(二度目の受験)

情報セキュアド合格



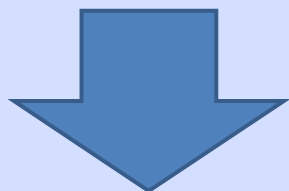
2007年秋(二度目の受験)

上級シスアド合格

システム担当者会議

4

- ◆ 本社システム室以外に各拠点にシステム担当者が存在
- ◆ 会社として統一や共有を図る必要がある



システム担当者会議の発足

IT連絡会

5

システム担当者はシステム担当者会議の内容を
各現場にフィードバックする必要がある



システム担当者主催の「IT連絡会」が開催される
ことになった



各部署を代表して「IT連絡会」に参加する
「IT担当者」が任命された(私もその一人)

IT担当者

6

- A) システム担当者と同等の知識や技能を持ち、部署内のIT関係の業務をこなす人(システム担当者会議にも出席している人)
- B) システムについて、ある程度の知識があり、窓口として機能できる人
- C) 伝達事項の連絡係の人

部署の規模や所属長の考え方により温度差がある
理想は、**全員が「B」以上**であること

私の当時のレベルは???

理想のIT担当者を目指して

7

- 何でもシステム担当者に頼ってはいられない
- 部署で解決できることは部署で解決しないと仕事の効率が悪い
- そのためには、ITに対する意識の低さからの脱却しなくては

ITに対する意識を変える必要がある

ITに対する意識の転換①

8

会社では

- 経理はデータ入力用の共有パソコンが部署に数台
- 業務で使用するシステムが理解できれば十分
- エクセルやワードが使えれば十分

自宅では

- パソコンは会社の業務で使うもの
- パソコンは無くても困らないので不要な物

ITに対する意識の転換②

9

- 会社では一人一台パソコンの時代が到来
- イン트라ネットやメールの普及
- パソコン操作が人並みにできないと仕事にならない



これからはパソコンは公私ともに

必須のアイテム

パソコン操作にはITの基礎知識が必要

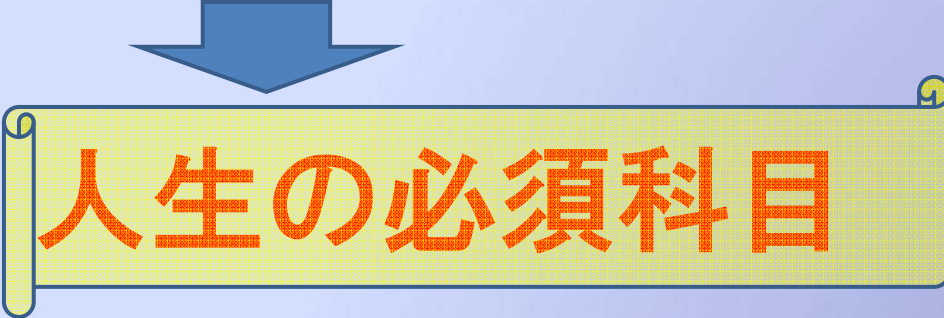
→ 自宅用にもノートパソコンを購入

ITに対する意識の転換③

10

- ITに疎い化石のような社員にはなりたくない
- 刻々と進歩するIT技術
- 体系的な学習を**継続することが必要**

ITは



人生の必須科目

シスアドへの目覚め

11

- ▶ 必須科目のITを体系的に学習するには？
➡ シスアド試験が最適である
- ▶ シスアド試験は**利用者**のための試験
➡ 目指す理想のIT担当者＝シスアド？
- ▶ 40歳からの挑戦開始！

シスアド試験の学習を通じて

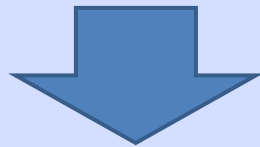
12

- 日々の業務の中にはシスアドの視点が必要な場面が多い
- 気付かないうちにシスアドのような仕事をしていた
 - ① ERP導入時のシステム担当者との折衝
 - ② ERP導入時の現場担当者の教育

シスアド活躍の場

13

- 経理は必ずシステムが存在する部署
- ただし、人が介さなければいけない泥臭い仕事も多い



「システム」だけでなく「人の思い」も理解できる人(=シスアド)が活躍できる

まとめ

14

シスアドって…

システム**が**わかる人じゃなくて、

システム**も**わかる人のはず

- ・仕事に「システム」と「人」を絡めて
よりよい成果へ導くことができる人
- ・システム担当者が仕事のしやすい
環境を創造できる人

システム担当者の方のお悩み解決に
少しでも参考にしていただければ幸いです。

ご清聴ありがとうございました。